

警告

- タープ内やタープの近くでは**火気を絶対に使用しないでください**。タープ素材は難燃性ではないため、燃焼する可能性があります。また、タープのそばで焚火をすると火の粉により、穴あきや燃焼の可能性があります。
- タープが緩んだ状態だと、風の影響を大きく受けたり、雨が溜ったりして危険ですので、適切なテンションをかけて設置してください。
- 設営する際は、環境や気象条件を考慮し、出来るだけ安全な場所に設営してください。
- タープの斜め方向(対角線上)に強いテンションをかけると、ダイニマテープが十分な強度を発揮できないため、お避けください。

製品の特徴と仕様

- 2～5人の使用に適した大型でシンプルな長方形(280×360cm)のタープです。
- 高強度のダイニマ®テープを配置。テンションをしっかりとかけることができ、濡れてもたるみが発生しにくい設計です。
- 16か所のタイダウンポイントを活用することで、様々な使い方が可能です。

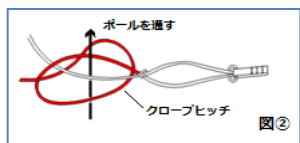
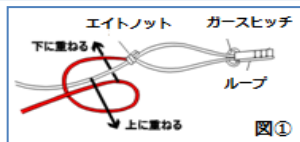
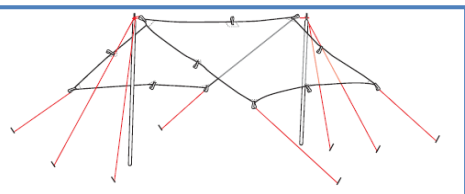
使用例

【タープポールを用いて屋根掛け】

基本の設営方法です。

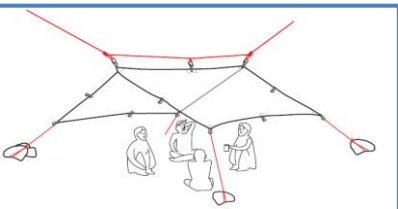
用意するもの：市販のタープポール(約2m×2本)、6mの細引き×2本、2mの細引き×4本

- ①タープを二つ折りにします。
- ②6mの細引きを半分に折り、半折部分から約10cmの所にエイトノットを作ります。2つ折りにしたタープの折部分にあるループに、細引きをガースヒッチで固定し、クローブヒッチでループを上下に重ねます。(図①)
- ③ポールを用いてタープを立てます。クローブヒッチにポールを通します。(図②)
- ④2本の細引きを引っ張り、末端をペグや岩で固定します。
- ⑤ポールを2本立てた後、タープの4隅に細引きを結び、末端をペグや岩で固定します。



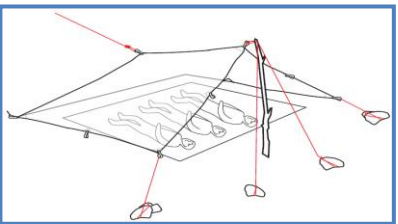
【天頂部にロープを通して屋根掛け】

沢登りでのビバークや大人数での使用に適しています。



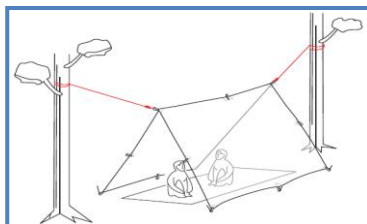
【ビバークシェルター型】

低く設営するために、耐風性が高く、ビバークシェルターとして適しています。



【小屋掛け型】

雨が入りにくい設営方法です。



オプション(別売り)



■ゴージュタープ用ガイドラインセット

セット内容：ガイドライン6m×2本、2m×4本、蓄光自在8個

3層構造の高強度オリジナル細引きです。

蓄光機能を持つ自在パーツ付きで、素早いタープの設営が可能です。

【素材】外被覆部 及び 中間被覆部：ポリエステル 中芯：アラミド繊維(テクノーラ®)

注意事項

- 汚れは真水で落とし、陰干しで充分乾燥させてから保管してください。
- 汚れや水が付着したまま放置しますと、生地の変質や色落ち、異臭、カビの原因になります。
- ご購入後は安全を確保したうえで、繰り返し使用方法を練習することをお勧めします。